

保温・農業資材



<トンネル資材-1>

- ①農業用ビニールフィルム
- ②農業用酢ビフィルム

③ポリエチレンフィルム 等があり、保温能力は①⇒②⇒③の順です。夜間の保温能力は優れていますが、日中の気温上昇で、野菜によっては、ビニールの裾を開ける必要があります。



<トンネル資材-2>

トンネル資材-1に換気のため穴を開けてあります。

穴は、2列～5列と穴を開けてあるものと、穴の変わりに穴の部分が網になっている物もあります、夜間には保温のために「ふた」が出来るものもあります。

夜間の保温能力はトンネル資材-1より落ちますが、日中でも換気の手間が掛からず、葉物野菜などには適しています。



<パオパオ不織布資材>

種を播いた上並びに植物を植えた上にふわりと掛けるだけで霜除け寒さ除けになります。 但し一枚だけでは夜から朝までの一番寒い時の気温を上げることが出来ませんので、他の資材と組み合わせて使う必要があります。



<ホットキャップ>

野菜一株ごとに帽子ようにかぶせます。

材料としては、不織布製・ポリ・プラスチックなど数種類あり、保温、防霜、防虫に効果があり、簡単に使用できます。



<マルチング>

土中の温度を上げるために畑に敷き、保温、耐病、防虫に効果があります。

種類としては、透明、銀ネズ、黒、シルバーなどいろいろあり、野菜の種類、季節によって使い分けをします。

その中で透明が一番、土中の温度を上げる効果がありますが、雑草が生え易い欠点があります。

黒は熱を吸収しますが土中の温度は上げにくいですが、しかし雑草をおさえる効果があります。

銀ネズは両方の良い面、悪い面、を持っていますが、防虫効果が一番あります。

シルバーは光を反射させますので夏の暑いとき地温を下げる事が出来、雑草を防ぐ効果があります。



<サンネット資材>

100%近く光を通すネットです。種子を播いた後すぐにトンネル掛けします。光を通すので徒長しないで、しっかりと育ちます。又、虫除け、強い雨など防ぎますので農薬の使用を少なくする事が出来、一年中使用できる資材です。苗を植えて使用する場合は完全に虫の付いていない苗に使用して下さい。虫が付いているとトンネルネットの中で虫を飼うようになりますので注意して下さい。



<寒冷紗資材>

白、黒2種類があり、ネットの目合により遮光率が違います。野菜作りには白色の300番で遮光率は約22%程度のものが良いと思います。遮光することにより気温、地温を下げることにより乾燥が防げます、その上防虫、強い雨も防ぎますので是非気温の高い時期の野菜作りに利用して下さい。黒は遮光率50%、60%ですので野菜を育てるのには無理ですが、日陰にしたい場合は使用すると効果があります。

以上の農業資材を使用し、また、併用して12月～2月までの厳寒期の野菜作りを楽しんで下さい。